

明石市立大蔵中学校だより「2019年4月18日(第2号)」

書あり 師あり 友ありて



ああ、わが大蔵中学校について

学校長 平田 高之

あれだけ美しかった桜の花も散ってしまい、新緑の季節となっていました。生徒たちは、新年度が始まり2週間近くが経過し、新しい大蔵中学校の生活にも馴染んでくれています。全体的にいいスタートが切れたのではないかと考えております。

部活動においても、夏の総合体育大会、コンクール等に向けて、春の大会が行われる等、指導者・生徒ともよく頑張ってくれていますが、環境の変化も含め、少し疲れが出る時期でもあります。各学級で気をつけて生徒の様子は見てまいりますが、ご家庭でもよろしくお願いします。

さて、本年度から、授業時数の確保のため家庭訪問を希望制にさせて頂きました。学年・学級によって多少の違いはありますが、約3分の1のご家庭にお邪魔させていただくことになりました。しかしながら、何か気になることや相談等がございましたら、この家庭訪問の時期に限らず、いつでも学級担任、学年主任等にご連絡下さい。

さて、今回の学校だよりでは、大蔵中学校の歴史について、紹介させて頂きます。

○設立：昭和22年4月1日設置(市内で最も古い7校のうちの1校です)

○開校式：昭和22年4月22日

・校舎は人丸小学校の一部及び明石市立高等女学校の一部を借用し、開校入学式は人丸小学校講堂で挙行されました。昭和24年に現在の西朝霧丘の地に移転されました。

・当時の生徒数は401名(1年6学級・2年2学級・3年1学級)

卒業生徒総数は20,337名です。

○校章：昭和22年、当時の明石中学校の校章が、高校発足とともに消えることを惜しみ、「明中」の校章の中央に、「大」の字を王冠のように図案化して重ね完成しました。中学校の「中」となっています。中央はペンになっていて、「学問」から「学校」へつながり、ペン先中央から縦線で割ると、明石の市章のように、明石の「明」となります。

○校歌：昭和26年、大阪音楽大学森本教授に、直接、学校の環境や風景を見て、建学の理想も聞いて頂いたうえで作詞をお願いしました。その歌詞に、同小橋教授に作曲して頂き、昭和27年1月20日文化祭において披露されました。

※ちなみに先日の「チコちゃんに叱られる！」で、「学校に校歌があるのはなぜ？」というテーマがありました！チコちゃんの答えは紙面の都合上いづれまた…

以下に、2019年度、本校の「教育目標」「めざす学校像・生徒像・教師像」「重点と主な取り組み」を紹介いたします。昭和22年から脈々と続く歴史と伝統、近藤前校長が4年間進められた学校経営の継続性を大切にしながら、さらなる飛躍を遂げる学校にしてまいりたいと考えております。

明石市立大蔵中学校

大蔵中学校区の目指す子ども像(平成30年度大蔵中学校小中一貫教育推進計画)
学び：自ら進んで友だちと意見交換し合い、共に高め合える子ども
育ち：積極的に友だちとかわり、共に伸びようとする子ども

2019年(令和元年)度 大蔵中学校教育目標

・生徒一人一人が知性・道徳心・体力を身につけ、人間性豊かな大蔵中学校の生徒として成長することを願い…
「自ら学びつづけ たくましく生き抜く 心豊かで、優やかな生徒を育てる」

めざす学校像

- ・真剣に学ぶ学校
- ・時間を守る学校
- ・あいさつをする学校
- ・きれいな学校
- ・人を思いやる学校

CHALLENGE!

「自ら創り出せる飾れる大蔵を」
Okura PRIDE

めざす生徒像

- ・自分のよさや可能性を発揮しようとする生徒
- ・自分で考えて行動し、他者を尊重する生徒
- 「やる気・根気・元気・勇気・本気」

めざす教師像

- ・生徒にやる気を起こさせ、生徒と共に歩もうとする教師(生徒の自尊感情を高める)
- ・教科指導に自信を持ち、明るく向上心のある元気な教師(教科指導のプロ)
- ・実態を把握し、先を見越した教育実験でのできる教師(学び続ける教師)
- ・家庭との連携を重視し、絶えず保護者とのつながりを大切にする教師(生徒・保護者ファーストの考え方で立てる教師)

今年度の重点と主な取り組み

1 基礎基本の徹底と学習意欲の向上

- ・少人数授業の実施(新学習システム)
- ・教育研究のさらなる発展
- ・学習指導ボランティアの支援
- ・体力づくりの推進(新体力テスト日本一へ)
- ・全校読書(朝の10分間読書)の徹底
- ・新学習指導要領移行期間(~32年度)
- ・学校司書の配置
- ・標準授業時数の確保
- ・ビブリオバトルの実施など

「何を学ぶか」
だけでなくどのように学ぶか

学んだことを人生や社会に全がよぶする人間性

2 社会性と豊かな心の育成

- ・「考え、議論する」授業などを通じて道徳性を育む
- ・授業力を高める研修会の工夫
- ・人権意識の高揚を図る
- ・人権文書発表会の実施
- ・情操教育の推進
- ・歌声が響き、生徒の姿が見える掲示活動の充実
- ・健康教育の充実及び食育の充実
- ・「わくわくオーケストラ」への参加など

働き方改革で
教育内容の充実を！
○「ノート活用」の制定
○「学校ルールブック」の活用
○「野球型」から「サッカー型」へ
○タイムマネジメント能力の向上
○生徒と向き合う時間の確保

3 生徒会活動の充実

- ・生徒の自主的な活動を尊重し、やりがいと楽しさを持たせる生徒会活動の推進
- ・あいさつ運動のさらなる推進
- ・小学校児童会との連携や地域との連携の推進など

気づき、考え、
やりぬく大蔵
中生

4 特別支援教育の推進

- ・特別支援教育指導員の配置
- ・特別支援サポートの配置
- ・交流及び共同学習の充実
- ・小中移行支援プログラムの実施
- ・個別の指導計画の作成
- ・「I'm POSSIBLE」を活用した授業など

すべての人が大切にされる共生社会を実現していくために

5 心の通い合う生徒指導、不登校指導の推進

- ・生徒指導相談員の配置
- ・アセス(学校適応調査)の実施
- ・面接週間の設定
- ・カウンセリングライン(研修会の実施
- ・スクールカウンセラー(SO)による研修会の実施
- ・SCLによる教育相談(保護者・生徒)の実施
- ・SSVの活用
- ・けやき教室(校内適応指導教室)の開設
- ・学校生活(いじめ含む)アンケートの実施
- ・情報モラル講習会の実施
- ・授業における生徒指導の三機能の実践
- ・「TASS」の活用で不登校の未然防止
- ・命の大切さの教育の充実など

一人一人
を大切に
した学級
づくり

未来を切り
拓く総合的
な人間力

6 進路指導・キャリア教育の充実
・「ライバル」「ワーキー」の充実
・オープンスクールへの参加
・確かな進路情報の共有
・自己実現を目指した進路指導
・「キャリアノート」の活用など

7 社会に開かれた学校づくりの推進

- ・チーム大蔵中学校UNIT会議の推進(小中連携)
- ・小学校への出前授業の実施
- ・保育実習など幼稚園との連携
- ・ホームページの充実
- ・オープンスクールの実施
- ・夏季・冬季バトーネルの実施
- ・家庭訪問、三者懇談会の実施
- ・PTAとの連携
- ・補導委員会との連携
- ・学校評議員会との連携

地域と連携し
よりよい学校
教育を目指し、
地域から信頼
される学校